

高等学校科目「地学」選択者の減少は大学入試が元凶なのか？

Is the entrance examination for Japanese universities the cause of the declining interest in the subject 'Chigaku'?

根本 泰雄[1]

Hiroo Nemoto[1]

[1] 阪市大院・理・地球

[1] Geosciences, Osaka City Univ.

<http://geolo.sci.osaka-cu.ac.jp/>

高等学校科目「地学」の受講者数の減少が顕著になって久しい。この現状を招いている大きな原因の一つとして、大学入試科目に「地学」を選択しにくい状況の存在が元凶であると考えている学校教育関係者は多い。しかしながら、これまでに大学入試の影響を定量的に調査・分析している報告はない。

本研究は、大学入試が高等学校科目「地学」受講者数減少の原因となっている可能性がどの程度妥当であるのか定量的に知ることを目的とした。そのために、大学入試科目として「地学」を選択できる大学数・学部数・学科数、学生募集人員の過去約20年間の年次推移を調査し、その結果に基づき分析を行った。

その結果、国公立大学では、各大学固有の入学試験で「地学」を受験科目として選択できる大学数がそれほど増減していないことが判明した。また、私立大学ではセンター試験利用入試が広まった影響で、大学入試科目として「地学」を受験できる大学数はむしろ増加していることが判明した。例えば、1984年の入試では「地学」を受験科目として選択できる私立大学数は4大学だけであったが、2003年の入試では271大学へと増加している。このような現状にもかかわらず、高等学校で「地学」を選択受講する生徒数は減少している。これは、センター試験利用入試で「地学」を受験科目として選択できる私立大学数は増加しているものの、地学系の学部・学科自体が私立大学には少なく、その多くは文系の一部の学部における入学試験科目として取り入れられているだけであり、このような現状の影響を被っている可能性を示していると考えられる。すなわち、「地学」で受験可能な学部が文系学部偏っていることが高校生に大学受験科目として「地学」を選択するのを躊躇わせ、そのことが高等学校で「地学」を選択しない要因として働いている可能性を示唆している。

以上から、「地学」で受験できる大学・学部数が理科の他の科目と比較して少ないことが、高等学校科目「地学」受講者数減少の原因の一つとして確かにあげられることが示唆される。しかしながら、近年の「地学」で受験可能な大学数の増加と調和的に高等学校科目「地学」の受講者数が増えていない。この両事実をあわせて考えると、大学入試という要因の影響と比べてその他の要因による影響のほうが、高等学校科目「地学」受講選択者を少なくする力と同等、あるいはより大きく働いていると考えなければ説明がつかない。すなわち、高等学校科目「地学」受講者数の減少は、大学入試の影響だけで捉えられるような単純な構造の問題ではないことが、大学入試の現状分析を通して明らかになった。